

平成26年度年度末 学校評価アンケート結果

12月に生徒、保護者、教員を対象とした今年度の学校評価アンケートを実施しました。その結果をお知らせいたします。



1 アンケート項目および評価方法

以下の4つの大項目の中に各4～6の小項目を設け、5段階(A～E)で評価しました。

- I 学力および授業の質の向上(教員の授業の工夫、生徒の家庭学習等に関して)
- II 進路目標の実現(進路目標、情報提供、進路指導等に関して)
- III 生徒指導および部活動(服装・頭髪、言葉遣い、部活動等に関して)
- IV その他(整理整頓、生徒の学校生活等に関して)

2 アンケート結果

※達成度=評価Aを90%,Bを70%,Cを50%,Dを30%,Eを10%として評価者数で平均した値

(1) 各評価者からみた平均達成度(昨年度)

	生徒	保護者	教員
	64.8%(68.3%)	65.6%(67.8%)	65.6%(65.2%)

(2) 各評価者からみた高い評価(各3項目)

順位	項目	達成度	順位		
			生	保	教
生徒	1 あなたは部活動等に積極的に取り組んでいますか。(～いましたか。)	74.6	1	2	8
	2 あなたの服装・頭髪はきちんとしていますか。	73.7	2	1	1
	3 あなたの言葉遣いや礼儀はきちんとしていますか。	76.4	3	4	7
保護者	1 あなたのお子さんの服装・頭髪はきちんとしていますか。	81.6	2	1	1
	2 あなたのお子さんは部活動等に積極的に取り組んでいますか。(～いましたか。)	78.4	1	2	8
	3 あなたのお子さんは楽しく学校に通っていますか。	73.2	15	3	1
教員	1 生徒の服装・頭髪はきちんとしていると思いますか。	72.2	2	1	1
	1 生徒は楽しく学校生活を送っていると思いますか。	72.2	15	21	1
	3 評価は能力・態度・意欲等の総合的評価になっていますか。	70.0	11	10	3

(3) 各評価者からみた低い評価(各3項目)

順位	項目	達成度	順位		
			生	保	教
生徒	20 色々な問題や悩みに関して相談できる先生が多いですか。	49.1	20	21	8
	19 あなたは学力の向上に向けて、計画的に家庭学習を行っていますか。	55.3	19	17	20
	18 あなたは本校の生徒指導の方針や方法に納得していますか。	56.5	18	20	17
保護者	21 学校は生徒の悩みや問題に関して相談できる教職員が多いと思いますか。	53.0	20	21	8
	20 学校における生徒指導の方針や方法に納得していますか。	56.0	18	20	17
	19 学校ではあなたのお子さんの適性や進路希望に合った進路指導をしてくれていると思いますか。	58.4	7	19	8
教員	20 生徒は計画的な家庭学習を行っていると思いますか。	53.3	19	17	20
	19 生徒や保護者への進路に関する情報提供は十分ですか。	57.8	9	18	19
	18 生徒は整理整頓に心掛け、積極的に清掃を行っていると思いますか。	58.9	4	7	18

3 アンケート結果の分析

I 学力および授業の質の向上(教員の授業の工夫、生徒の家庭学習等に関して)

教員は、生徒の実態を把握し「わかる授業」を行う努力をしているのが何え、生徒もこのことに関し十分な評価をしてきています。しかしながら、保護者の評価が若干低くなっています。保護者の皆様には実際に来校し授業の様子を確認してほしいと思っています。学校へ行く週間では保護者来校が0であり、保護者の皆様に学校に対する関心を高めることに力を注いでいきます。

家庭学習に関しては、3者とも評価が低くなっています。教員は家庭学習の確立のために課題を出すなどの工夫をしていますが、生徒の中には進路目標に向かってやらなければならないという意識が低いために、課題を行うものの疎かになっていると思われる。そのため、進路目標の意識付けをするためにも、生徒と保護者とさらに早い段階から、進路に関するコミュニケーションを十分に取る必要があるのではないかと推測します。

II 進路目標の実現(進路目標、情報提供、進路指導等に関して)

学校からの情報提供に関して、教員は昨年度に比べ上昇し、教員各人の努力が何えませんが、生徒・保護者は満足していません。進学校と言われる学校では、進路指導部だよりを毎月発行しているところもあり、本校でも定期的な情報を発信などの試みをしていかなければならないと思います。

適性や進路希望に合った進路指導に関しては、教員は昨年度の反省のもとに進路指導の充実に努めましたが、それが保護者には評価されていません。原因としては、教員・生徒と保護者とのコミュニケーション不足ではないかと推測します。PTA総会を含め保護者の方々に来校していただくときには、進路に関する情報を提供しております。1人でも多くの保護者の方に参加してもらえるような工夫をし、また気兼ねなく保護者の皆様が学校に足を運んでもらえるような方策を今年度以上に再考し、保護者の皆様が実際に把握出来る場面を作っていきたいと思えます。

保護者皆様からは、その他厳しいご意見もあり、第1に生徒の進路実現を考え、保護者と教員の協力体制の充実に努めていきたいと思います。

III 生徒指導および部活動(服装・頭髪、言葉遣い、部活動等に関して)

生徒の悩み相談・生徒指導方針への理解について、教員と保護者・生徒の間でギャップが大きいです。生徒の悩み相談については、教員と生徒の面談を実施し、また気になることがあれば生徒に声をかけ、コミュニケーションをとり、悩みを把握し、必要があればスクールカウンセラーによるカウンセリングを受けるように取り組んでいましたが、生徒・保護者に評価が低いということは、教員の予想以上に悩みを持つ生徒が多いと考えます。担任以外の相談体制や面談など多くの教員での生徒の関わりを作っていきたいと思えます。また、生徒指導方針についても生徒・保護者に評価が低くなっています。PTA総会や生徒会をとおして、学校側の事情・状況を丁寧に説明し、意思疎通を図り生徒・保護者の皆様に協力を求めていかなければならないと思っています。特に生徒指導に関することについては、学校から生徒や保護者へ積極的に情報を発信する取り組みが必要と考えます。

IV その他(整理整頓、生徒の学校生活等に関して)

生徒の学校生活が楽しいという回答が2割減、また楽しくないという回答が1割増と、一昨年度、昨年度と比べると残念な結果となりました。学校生活における規律における不満や生徒個人の希望や要望に教員がなかなか対応できなかったのが原因だと思われる。私たち教員はこの結果をしっかり受け止め気を引き締め、生徒がより充実した学校生活を送れるように取り組んでいかなければならないと思っています。本校への入学に関しては、若干減少したものの保護者・生徒とも概ね良かったと思っている人が多いという結果で安心していますが、この結果を踏まえ、教職員は、今まで以上に人間としての在り方、生き方についての指導および進路指導をさらに充実させ、生徒全員が満足し、そして希望する進路が実現できるように指導していきたく思っています。